

磐田市防災ファイルに綴りましょう。

令和5年 3月11日は

家庭防災の日

災害時も自宅で過ごそう!

- ① 災害時の連絡手段を考えよう!
- ② 感震ブレーカーを設置しよう!
- ③ 携帯トイレを備蓄しよう!



磐田市イメージキャラクター
じゅべい ©磐田市

「災害が発生したら、必ず避難所で生活する」

そう思っていないですか？

共用トイレや食べ慣れない食事、新型コロナウイルス感染症対策等、避難所での生活は様々なストレスがあります。

家屋の安全が確認できたら自宅で避難生活ができるよう今できる備えを実践しましょう。

磐田市自治会連合会 防災部

年に1度は家族で
防災ファイルを
確認しましょう。



磐田市自治会連合会と磐田市は家庭防災の状況を把握するため、令和5年8月頃にアンケート調査を予定しています。
回答のご協力をお願いします。

① 災害時の連絡手段を考えよう!

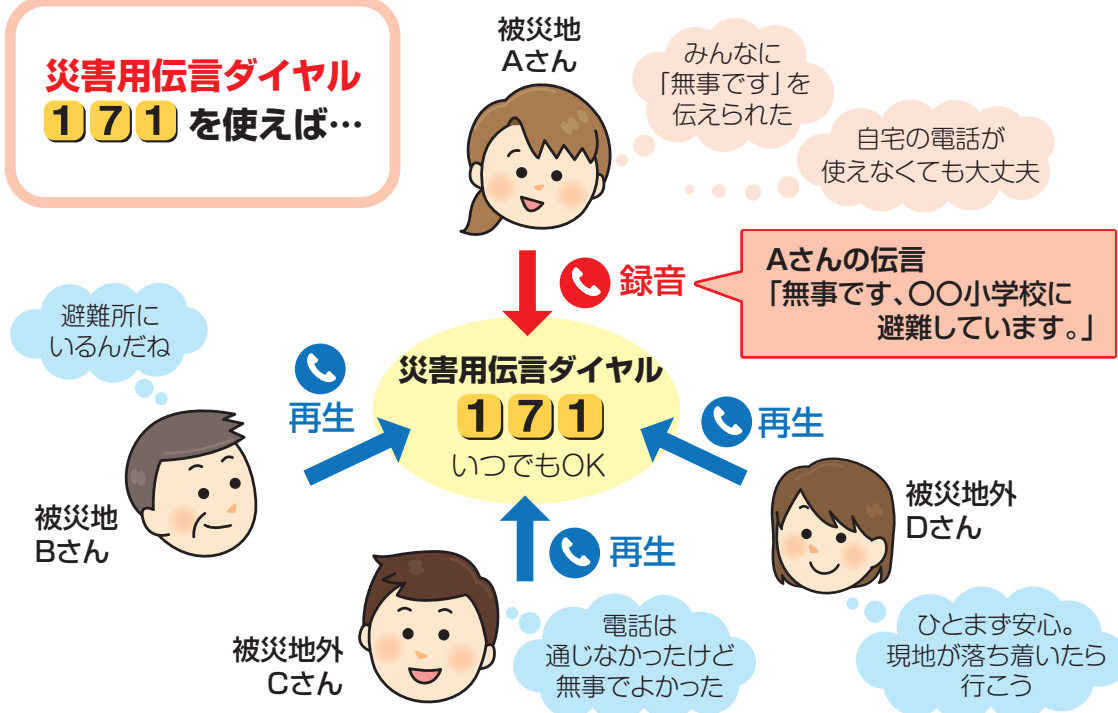
大規模災害時は、被災地の方の安否を気遣う電話が増加するため、電話がつながりにくい状況になります。災害時に家族の無事や集合場所が確認できるよう、災害用伝言ダイヤルやSNS等の連絡手段について日頃から家族で話し合い、決めておきましょう。



災害用伝言ダイヤル 171

被災地の方などの電話番号および携帯電話等の番号をキーとして、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるサービスです。

災害用伝言ダイヤル 171 を使えば…





 **録音**
(30秒以内)

お父さんの一郎
だけど、一番町
小学校にいます



再生 お父さんの一郎
だけど、一番町
小学校にいます



LINE・SNS




9:14:54


 いわた家(3)
 




 母

既読 2
14:50

私は無事です。
 ○○小学校に避難しています。


 父

既読 1
14:53

私も無事です。
 今、○○小学校に到着しまし
 ました。

既読 1
14:53

お父さんは無事ですか？


 父

勤務先にはます！
 ケガはありません。



② 感震ブレーカーを設置しよう!

地震による火災の過半数は通電火災です。

地震が引き起こす通電火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

東日本大震災では、本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち54%が電気関係の出火でした。



通電火災対策には、感震ブレーカーが効果的です

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合の通電火災を防止するために有効な手段です。

感震ブレーカーは、製品ごとに特徴・注意点があります

分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

費用:約5~8万円(標準的なもの)
※電気工事が必要

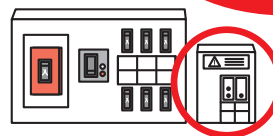


分電盤タイプ(後付型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能

費用:約2万円
※電気工事が必要



補助制度があります!

コンセントタイプ

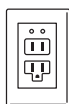
費用:約5千円~2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

(埋込型)

壁面などに取り付けて使うもの

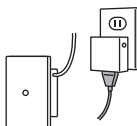
※電気工事が必要



(タップ型)

既存のコンセントに差し込んで使うもの

※電気工事が不要

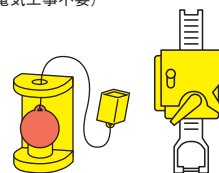


簡易タイプ

費用:約2~4千円程度

※ホームセンターや家電量販店で購入可能
(電気工事不要)

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。

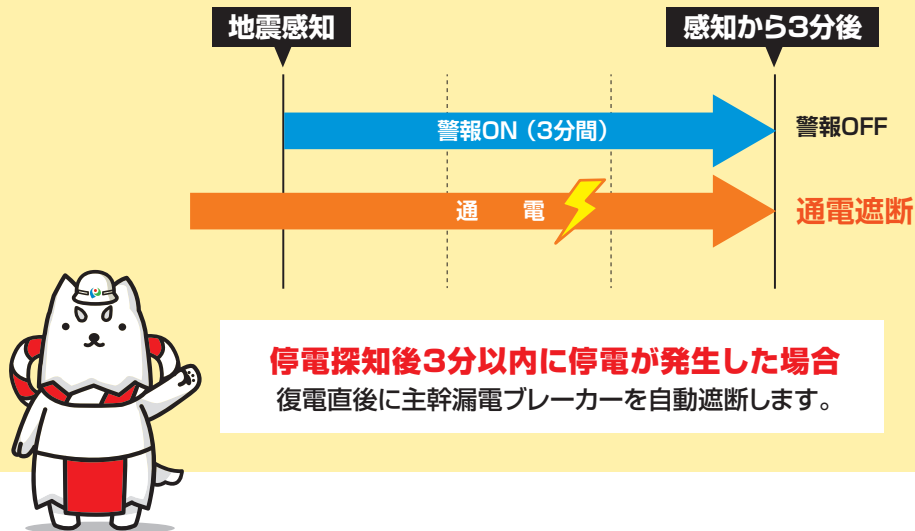


おもり玉式

バネ式

感震ブレーカーの基本動作【分電盤タイプの場合】

地震探知後、3分が経過すると、主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。



急に電気が止まっても困らない対策も必要です

- 生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
- 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。

※ 感震ブレーカーの設置に関らず、地震時やその他の自然災害時にも大規模な停電が発生するおそれがあることから、平時から停電対策に取り組みましょう。

耐震対策等と合わせて取り組むとさらに効果的です

- 避難路の確保等のために、建物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組みましょう。
- 復電する場合には、事前にガス漏れ等がないことの確認や、電化製品の安全の確認を行ってください。
- 仮に、復電後、焦げたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカーを遮断し、再度、安全確認を行いましょう。もし、原因が分からない場合は、電気の使用を見合わせましょう。
- 定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品等の交換を行いましょう。

③ 携帯トイレを備蓄しよう!

大規模災害時は、断水や下水設備の破損で水洗トイレは使用できなくなります。
また、不衛生なトイレ環境や排せつを我慢することは体調を崩す原因になります。

携帯トイレの使い方（凝固剤タイプ）



どのくらい備蓄したらいいの?

目安は1人につき、1日5回を1週間分です。



5人家族だと...

$$5\text{回分} \times 7\text{日分} \times 5\text{人分} = 175\text{コ}$$

発災から6時間以内に
7割の人がトイレに
行きたくなつたんだって!



防災写真コンテスト

家庭防災の日で防災写真コンテストを実施します。
最も防災意識の高さを感じる写真を応募いただいた限定80名様に
非常持ち出しセットをプレゼントします。ぜひ、ご応募ください。

募集期間：令和5年3月1日(水)～3月31日(金)

ご応募は
こちらから

